

実務経験のある教員による科目一覧

授業科目	配当 年次	授業 形態	単位	担当教員 <small>※実務経験のある教員名のみ記載</small>
社会的養護Ⅰ	1	演習	2	田代健一
保育者論	2	講義	2	久保田真規子
保育の心理学Ⅰ（保育の心理学）	1	講義	2	稲場健
保育の心理学Ⅱ（子どもの理解と援助）	2	演習	2	稲場健
子ども家庭支援の心理学	2	講義	2	稲場健
子どもの保健	1	講義	2	悴田真紀子
カリキュラム論（保育の計画と評価）	2	講義	2	白井智佳子
人間関係指導法	1	演習	1	久保田真規子
言語表現	1	演習	1	久保田真規子
乳児保育Ⅰ	1	講義	2	鷲尾智恵子
乳児保育Ⅱ	1	演習	1	畠山裕子
乳児保育Ⅲ	2	演習	2	鷲尾智恵子
子どもの健康と安全	1	演習	1	悴田真紀子
子育て支援	2	演習	1	渡邊 彩
保育相談の実際	2	演習	1	田代健一
幼児理解と教育相談	2	演習	2	稲場健
子どもの保健実習	2	演習	1	悴田真紀子
保育内容総論Ⅱ	2	演習	1	久保田真規子
保育実習指導Ⅰ（施設）	2	演習	1	田代健一
保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	演習	1	松延毅
保育実習指導Ⅱ	2	演習	1	松延毅
教育実習Ⅰ	1	実習	2	白井智佳子
教育実習Ⅱ	2	実習	3	久保田真規子、白井智佳子
子どもと人間関係	2	講義	1	久保田真規子

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1BK06	1年次 前期	演習	2	田代 健一	社会的養護 I 2022. 3.31第4刷 監修：喜多一憲 編集：堀場純也 株式会社みらい
科目名	社会的養護 I		担当形態			
			単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 児童虐待件数の増加とともに、社会的養護に関する考え方や政策が大きく転換してきている。この講義では、社会的養護の基本理念である「子どもの最善の利益」と「すべての子どもを社会全体で育む」という考え方をもとに具体的な福祉サービス制度や政策がどのように変遷し、対応しているのかを、福祉専門職である保育士として必要な知識や支援のあり方を学ぶ。 児童相談所や児童福祉施設等で実務経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・社会的養護の基本原理及び現状と課題について理解できるようになる。 ・社会的養護を利用する児童の権利擁護について理解できるようになる。 ・社会的養護における各種社会資源について理解できるようになる。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 授業・テキストの概要説明				予習：テキストの序文・目次等を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
2 社会的養護の基本原理とその現状				予習：テキストの第1章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
3 社会的養護の歴史				予習：テキストの第2章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
4 子どもの権利擁護				予習：テキストの第3章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
5 社会的養護の体系と実践 その1				予習：テキストの第4章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
6 社会的養護の体系と実践 その2				予習：テキストの第4章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
7 社会的養護の領域と概要①(養護系施設) その1				予習：テキストの第5章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
8 社会的養護の領域と概要①(養護系施設) その2				予習：テキストの第5章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
9 社会的養護の領域と概要②(家庭養護)				予習：テキストの第6章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		
10 社会的養護の領域と概要③(障害系施設)				予習：テキストの第7章を読んでもらうこと		4
				復習：キーワードの内容・意味を整理すること		

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 児童相談所の現場で働く職員から講義（予定）		4
12 社会的養護に関わる専門職・専門機関と倫理	予習：テキストの第8章を読んでくること	4
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
13 社会的養護とソーシャルワーク	予習：テキストの第9章を読んでくること	4
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
14 施設の運営管理	予習：テキストの第10章を読んでくること	4
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
15 まとめ	配布資料を参考にして社会的養護についてもう一段理解を深める	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストの予習と復習を行うこと。 ・随時プリントを配布して理解を深める。 		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>中間レポート（50％）、期末レポート（50％）によって評価する。</p>		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <p>講義中や講義後に出された質問・疑問等の内容を整理し、次回以降の講義で説明・コメントする。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2BK02	2年次 後期	講義	2	久保田真規子	『エピソード保育者論』(株)みらい
科目名	保育者論		担当形態			
			単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (5) (6) (7) (9) (12)						
〔授業の概要〕 1. 教職の意義、保育者の役割、職務内容を理解し、保育者の専門性と、自分が目指す保育者像を具体的に描く。 2. 映像・事例・新聞記事などの関連資料による現代社会の変化と課題を見つめ、保育者の役割を理解する。 幼稚園(元園長)・子育て支援施設職員の勤務経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・教職の意義・保育者の役割、職務内容を理解し専門的知識を身につける。 ・現代社会における教育・保育の動向を理解し、保育者に求められる役割と資質・能力を理解する。 ・こどもの発達を理解し養護、教育を含めた保育者の職務の全体像を具体的にイメージできる。 ・園内外の専門家との連携、保護者理解を深め、自己研鑽する大切さを学ぶ。						
〔授業の計画/事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 ガイダンス「保育者になる」ということ				予習：テキスト・実習生としての心構えを理解する。		4
				復習：実習の留意点を理解し実行する。		
2 教職の意義・保育者の役割、職務内容を理解				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		
3 幼稚園教育要領改訂・保育所保育指針改定の方向性と保育者の存在意義				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		
4 保育者の仕事、役割、職務内容(チームで保育をすること)を理解する				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		
5 保育者に求められる資質(1) 子どもの思い、育ちを理解する				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		
6 保育者に求められる資質(2) 保育者自身に期待される役割				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		
7 保育者に求められる資質(3) 文化、自然、安全への広い視野をもつこと				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		
8 社会の変化と保育者の課題(1) 保育者と家庭との信頼関係をつくるとは				予習：連絡帳の書き方について事前学習する		4
				復習：実際に所定の書式で記述する		
9 社会の変化と保育者の課題(2) 現代社会の変化とICT活用の保育				予習：配布資料を参考に現代社会の課題を理解する。		4
				復習：新聞記事を読む。		
10 社会の変化と保育者の課題(3) 子どもの育ちの危機と子育て支援				予習：テキストを読む。		4
				復習：ノートをまとめる。		

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 保育者の専門性を考える (1) 職務内容、研修、権利への基本的理解	予習：テキストを読む。	4
	復習：ノートをまとめる。	
12 保育者の専門性を考える (2) 保育者の倫理・不適切な保育の未然防止に向けて	予習：保育者の倫理綱領について読み込む	4
	復習：ノートをまとめる。	
13 さまざまな保育実践と自分がめざす保育① (学びあう保育者として)	予習：保育実践者からのメッセージと社会人としての心構えについて学ぶ	4
	復習：ノートまとめ・整理し提出をする。	
14 さまざまな保育実践と自分がめざす保育② (保育者の専門性の発達)	予習：テキストを読む。	4
	復習：感想を提出する。	
15 保育者・社会人へのメッセージ (まとめ)	予習：保育者として求められるキーワードをまとめる。	4
	復習：保育者の専門性のキーワードをまとめる。	
〔学習上の留意点・準備等〕 講義形式で適時参考資料を配布する。課題・演習の要素も含むため主体的態度で臨むこと。		
〔成績評価方法と評価基準〕 定期試験60%・レポート40%		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 授業時に与えられる課題を、実践事例として取り上げ、自身で考察をする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1CK01	1年次 後期	講義	2	稲場 健	新乳幼児発達心理学 (繁田進監修) 福村出版
科目名	保育の心理学 I (保育の心理学)		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (9) (10) (11)						
〔授業の概要〕 人間の心理は年齢と共にさまざまな発達、変化が生じる。特に乳幼児期は最も変化の著しい時期であり、その後の発達の基礎が築かれる時期である。講義では心理学の知識を基にさまざまな観点から多面的に乳幼児の心理、発達の特徴を学ぶ。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 1 保育実践に関わる心理学の知識を習得する。 2 発達段階ごとの子どもの発達状況を理解する。 3 保育における発達援助、幼児理解を学ぶ。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容			事前事後学修の内容		所要時間	
1 発達のしくみ・・・発達心理学とは			予習：テキストの序文・目次を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返り、テキストのp3～p4、p10～15を讀み返す			
2 発達の様相・・・年齢ごとの発達の様相			予習：テキストの第1章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第1章を讀み返す			
3 自分をとりまく世界の認識1・・・認知の発達			予習：テキストの第2章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第2章を讀み返す			
4 自分をとりまく世界の認識2・・・思考の発達			予習：テキストの第2章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第2章を讀み返す			
5 自分をとりまく人々との関わり ・・・愛着関係の発達			予習：テキストの第3章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第3章を讀み返す			
6 自分を知る・・・自己の発達			予習：テキストの第4章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第4章を讀み返す			
7 豊かな内的世界1・・・乳児期の情緒発達			予習：テキスト第5章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第5章を讀み返す			
8 豊かな内的世界2・・・幼児期の情緒発達			予習：テキスト第5章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第5章を讀み返す			
9 ことばとコミュニケーションの発達			予習：テキスト第6章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第6章を讀み返す			
10 遊びの発達と友達関係			予習：テキスト第7章を讀んでくること		4	
			復習：授業内容をふり返りテキストの第7章を讀み返す			

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 社会的認知と社会的行動の発達	予習：テキスト第8章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第8章を読み返す	
12 乳幼児保育と発達	予習：テキスト第9章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第9章を読み返す	
13 さまざまな発達の障害① ～発達の障害とは、精神機能の発達の障害～	予習：テキスト第10章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第10章を読み返す	
14 さまざまな発達の障害② ～身体的障害、ことばの障害など～	予習：テキスト第10章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第11章を読み返す	
15 まとめ	予習：前回は配布した資料を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返り配布資料を読み返す	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随時プリントを配布し理解を補足する。 ・ 毎回、小テストを実施し、理解を確認する。 		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義時における小テスト40%、レポート60%。 		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。小テストは、講義内で振り返り及び解説を行い、疑問点、質問点についてコメントする。 		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2CE03	2年次 前期	演習	1	稲場 健	適宜、資料を配布する
科目名	保育の心理学Ⅱ (子どもの理解と援助)		担当形態			
			単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (8) (9) (10) (11) (12)						
〔授業の概要〕 この授業では、保育の心理学Ⅰで学んだ知識や基本となる援助を踏まえながら、子ども理解の意識や基本となる考え方を、子どもの体験過程に着目することを通して学んでいく。事例を用いたディスカッション、グループワークを行い、子どもに起きている体験がどのようなものなのかを具体的に検討することを通して子どもを理解しようとしていきたい。子どもを理解するための具体的な方法についても学びながら、子どもの理解に基づいた援助や関わりの基本となる考え方が理解できることを目指す。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・保育実践において、子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 ・子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 ・子どもを理解するための具体的な方法について、その基礎を理解する。 ・子どもの理解に基づく、保育の援助や制度の基本について理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	保育における子ども理解の基礎と意義	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
2	子どもに関わる姿勢、態度の基本 ～子どもへのまなざしと共感的理解～	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
3	子どもを理解する視点①－生活や学びを通して (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
4	子どもを理解する視点②－保育の環境に着目して (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
5	子どもを理解する視点③ －子ども相互の関わりと関係 (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
6	子どもを理解する視点④－集団に着目した育ち (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
7	子どもを理解する視点⑤ －葛藤やつまづきへの関わり (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
8	子ども理解のための観察・記録・省察	予習：事前に配布した資料を読んでくる。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
9	子ども理解のための連携－職員間の対話 (グループワーク、ディスカッション)	予習：事前に配布した資料を読んでくる。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子ども理解のための連携－保護者との情報共有 (グループワーク、ディスカッション)	予習：事前に配布した資料を読んてくる。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
11 発達の課題に応じた援助と関わり① ～事例検討・個人差に着目して～ (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
12 発達の課題に応じた援助と関わり② ～事例検討・個と集団の関係に着目して～ (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
13 特別な配慮を要する子どもの理解と援助 (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
14 発達の連続性と環境の変化、移行、就学支援 (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
15 まとめ－子ども理解と援助とのつながり	予習：今までの学習内容の整理をしてくる。	1
	復習：この回でまとめた内容の振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕 授業に適宜、参考文献を紹介する。グループワーク、ディスカッションにおいては、考えたり、発言したりすることが理解を深めることにつながるため、積極的に取り組む心構えをもって臨むこと。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業内課題40%、レポート60%。		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 適宜、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2CK02	2年次 後期	講義	2	稲場 健	新基本保育シリーズ9 「子ども家庭支援の心理学」(中央法規出版)、 監修・児童育成協会、編集・白川佳子・福丸由佳
科目名	子ども家庭支援の 心理学		担当形態			
			単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (9) (10) (11)						
〔授業の概要〕 受精の瞬間から死に至るまで、人間は生涯にわたって発達する。この授業では、初期経験の重要性や発達課題等に焦点を当てながら、生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を学んでいく。また、子どもの発達を支える家族・家庭の意義や機能、現代の社会的状況を学び、子どもと家族・家庭を包括的に捉える視点の習得を図る。そして、親子関係や家族関係について発達の視点から理解できるよう、目指していく。他にも、子どもの健康に関わる問題について学ぶことを通して、子どもの精神保健に関する基礎的な知識の習得を図る。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 ・家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ・子どもの精神保健とその課題について理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	生涯発達①乳児期の発達	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握してくる。			4	
		復習：テキスト第1講を読み返す。				
2	生涯発達②幼児期の発達	予習：テキスト第2講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
3	生涯発達③学童期の発達	予習：テキスト第3講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
4	生涯発達④青年期の発達	予習：テキスト第4講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
5	生涯発達⑤成人期・中年期の発達	予習：テキスト第5講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
6	生涯発達⑥高齢期の発達	予習：テキスト第6講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
7	家族・家庭の意義と機能	予習：テキスト第7講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
8	家族関係・親子関係の理解	予習：テキスト第8講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
9	子育ての経験と親としての育ち	予習：テキスト第9講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子育てを取り巻く社会的状況	予習：テキスト第10講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
11 ライフコースと仕事・子育て	予習：テキスト第11講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
12 多様な家庭とその理解	予習：テキスト第12講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
13 特別な配慮を要する家庭	予習：テキスト第13講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
14 子どもの生活・生育環境とその影響	予習：テキスト第14講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
15 子どものこころの健康に関わる問題	予習：テキスト第15講を読んてくる。	4
	復習：今までの学習内容の整理、振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕 ・ 随時プリントを配布し理解を補足する。 ・ 毎回、小テストを実施し、理解を確認する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 小テスト40%、レポート60%。		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。小テストは授業内で振り返り及び解説を行い、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1CK04	1 年次 前 期	講 義	2	俣田真紀子	子どもの保健 中根淳子/佐藤直子 編著2,200円(ななみ書房) 適宜資料配布
科目名	子どもの保健		担当形態 単 独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (5)						
〔授業の概要〕 子どもの保健は胎生期から始まり、すべての生まれてきた子どもは、健やかに育つ権利を有する。子どもの健全な発育を支援し、健康増進を図るために、発育・発達を理解し、健康状態の把握・評価を行い、阻害する恐れのある疾患や健康に関する現状や課題を理解し、適切な対応や予防策が講じられるように学習する。 地方自治体の保健衛生業務の経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2. 子どもの身体的な発育・発達と保険について理解する。 3. 子どもの心身の健康状態とその把握方法について理解する。 4. 子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。						
〔授業の計画/事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 子どもの健康と保健の意義 子どもの定義、健康の概念、子どもに関する保健行政のあゆみ				予習：シラバスを読み、概要、目標、内容などを把握しておく。 復習：教科書P9～13と資料の見直し。		4
2 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題と児童虐待防止				予習：資料、教科書P13～16を読んで理解を深める。 復習：虐待の現状、早期発見と防止にどう関わるのかを整理しておく。		4
3 子どもの発育と発達 (1) 身体発育と評価について				予習：配布資料、教科書P19～29を読み、理解を深める。 復習：発育の経過と評価の方法を理解しておく。		4
4 子どもの発育・発達 (2) 生理機能・感覚機能の発達について				予習：配布資料、教科書P30～38を読み理解を深める。 復習：生理機能・感覚機能の発達について整理し、見直しておく。		4
5 子どもの発育・発達 (3) 運動の発達と評価について				予習：配布資料、教科書P38を読み理解を深める。 復習：発達の原則、原始反射との関連性、観察ポイントと発達の経過を理解する。		4
6 子どもの発育・発達と保健 (4) 精神機能の発達と評価について				予習：配布資料を読み理解を深める。 復習：情緒、言語、社会性の発達と発達の評価の方法を理解する。		4
7 子どもの発育・発達と保健 (5) 子どもの食と栄養について				予習：配布資料、教科書P45～46を読み理解を深める。 復習：乳汁栄養・離乳食・幼児食への保健的配慮を見直しておく。		4
8 健康状態の把握 (1) 健康診断、健康観察、一般状態と体温・脈拍・呼吸の観察のついて				予習：配布資料、教科書P59～62を読み理解を深める。 復習：健康観察のポイントを見直しておく。		4
9 健康状態の把握 (2) 身体測定の方法と成長曲線による評価と保護者との情報共有について				予習：配布資料、教科書P64～69を読み理解を深める。 復習：測定方法の実際、パーセントタイル値(成長曲線)・カウプ指数等の評価を理解する。		4
10 子どもの疾病の予防と適切な対応 (1) 子どもの病気の特徴、感染症について				予習：配布資料、教科書P73～84を読み理解を深める。 復習：授業内容を見直し、整理しておく。		4

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 子どもの疾病の予防と適切な対応 (2) 免疫・アレルギー、消化器疾患について	予習：配布資料、教科書P84～90を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
12 子どもの疾病の予防と適切な対応 (3) 循環器、血液系、内分泌・代謝性疾患について	予習：配布資料、教科書P90～97を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
13 子どもの疾病の予防と適切な対応 (4) 神経系、腎・泌尿器、先天性疾患について	予習：配布資料、教科書P90～98を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
14 子どもの疾病の予防と適切な対応 (5) 感染症法、学校保健安全法で定める疾患と予防について	予習：配布資料を読み理解を深める。	4
	復習：学校保健安全法による予防対策を見直ししておく。	
15 子どもの疾病の予防と適切な対応 (6) 予防接種と子どもの疾病に対する国の対応について	予習：配布資料を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、予防接種について整理しておく。	
〔学習上の留意点・準備等〕 限られた時間内で、専門用語も多々ある中で多くのことを学ぶので、前もって予習をしておくことが望ましい。 復習は教科書、配布資料を活用する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業態度、定期試験で評価する。		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 授業中の課題等について添削をして返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2DK01	2年次 前期	講義	2	白井智佳子	幼稚園教育要領解説(H30年版・文部科学省)・随時講義内容資料を配布
科目名	カリキュラム論 (保育の計画と評価)		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (5) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 ・元幼稚園教諭・園長経験を活かし、園運営・保育実践の具体例を示す。また、学生自ら保育・教育ビジョンを作成することを通し、全体的計画、カリキュラム・マネジメントについて具体的に指導を行う。 ・カリキュラムを実践していく保育士・幼稚園教諭としての資質能力向上を目指し、具体的な保育実践例を読み解き、幼児教育の理解を深める授業を行う。						
〔授業科目の到達目標〕 ・保育所・幼稚園・認定こども園の運営には、カリキュラム・マネジメントが必要であることを理解する。 ・保育所・幼稚園・認定こども園の役割の重要性を理解する。 ・カリキュラム・マネジメントにおける教育的意義を知り、幼児教育の重要性を理解する。 ・保育・教育ビジョン作成のグループワーク、発表を通し、保育士・幼稚園教諭としての知識・実践力・責任ある態度を身に付ける。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1	オリエンテーション・保育園、幼稚園の役割 (法令の理解・幼稚園教育要領の改訂の理解)	保育・教育ビジョン作成	予習：シラバスを読む。テキスト総則を読む	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
2	幼児教育の意味と重要性		予習：テキスト第1章の前半を読む。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
3	幼児教育の保育課程・指導計画の基本		予習：テキスト第1章の後半を読む。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
4	幼児教育の総合的教育の意味と実際 (健康領域の視点から深める)		予習：テキスト第2章の健康領域を読む。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
5	幼児教育の総合的教育の意味と実際 (言葉・表現領域の視点から深める)		予習：テキスト第2章の言葉領域を読む。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
6	幼児教育の総合的教育の意味と実際 (年長児劇表現から深める)		予習：テキスト第2章の表現領域を読む。	復習：年長児劇から学んだことをまとめる。	4	
7	幼児教育の総合的教育の意味と実際 (年少児劇表現から深める)		予習：子ども主体の劇とは何かを考える。	復習：年少児劇から学んだことをまとめる。	4	
8	幼児教育の総合的教育の意味と実際 (環境領域からせまる)		予習：テキスト第2章の環境領域を読む。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
9	幼児教育の総合的教育の意味と実際 (人間関係領域からせまる)		予習：テキスト第2章の人間関係領域を読む。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	
10	環境を通して行う教育とは		予習：テキスト総則を再読する。	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	4	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 幼児における協同体験の重要性	予習：テキストから、協同体験の意味を読み取る。	4
	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	
12 幼児教育と小学校教育の接続計画と実際	予習：学生が体験した幼小の連携体験を書き出す	4
	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	
13 保護者連携・地域連携の計画と実際	予習：学生が体験した地域連携を書き出す。	4
	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	
14 カリキュラムマネジメントのまとめと実際	予習：テキスト第3章を読む。	4
	復習：配布資料を再読し、理解を深める。	
15 保育・教育ビジョン作成の発表と意見交換 (プレゼンテーション)	予習：グループで発表打ち合わせをする。	4
	復習：振り返りをする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px;"> (グループワーク) 保育・教育ビジョン作成 </div> 		
〔学習上の留意点・準備等〕 ・講義内容に即した保育現場の実際写真・動画を活用し、学生の理解を深める。 ・講義内容をわかりやすくまとめた資料を準備し、学生自身の振り返りに役立つようにする。 ・保育・教育ビジョン作成における具体的な視点を示す。		
〔成績評価方法と評価基準〕 ・課題（レポート）30% ・グループワークにおける取り組み姿勢20% ・定期試験50%		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 ・課題レポートを添削し返却する。レポートの内容は、必要に応じて学生に紹介する。試験は必要に応じてコメントを入れ返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1DE04	1 年次 後 期	演 習	1	久保田真規子	『人間関係』(田宮緑・萌文書林) 幼稚園教育要領
科目名	人間関係指導法		担当形態 単 独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (5) (6) (8) (9) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、理解を深める。さらに乳幼児の発達を理解し、子どもが、主体的に、対話的に遊びを通して学ぶプロセスを、学生自身が学ぶ。 元幼稚園園長・子育て支援職員の現場経験を踏まえ、具体的な指導場面を想定し、学生が保育者の援助・留意点を踏まえつつ保育を構想する方法を身に付ける。						
〔授業科目の到達目標〕 ・幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達を理解し「あそび」を通し、相手を尊重し考え、人として繋がる育ちのプロセスを理解する。 ・人間関係の具体的な保育場面を想定し、保育を構想・実践する方法を身に付ける。 ・人的環境としての保育者の役割を理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	幼稚園教育要領の領域「人間関係」のねらいと内容をつかむ	予習：幼稚園教育要領を読む 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
2	子どもの育ちと人間関係の理解 ～発達段階と人間関係の重要性を知る	予習：テキストを読む。 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
3	保育者との信頼関係から友達関係へ ～入園期～集団生活への育ち	予習：テキストを読む。 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
4	自立を育む 援助 (3～5歳児の育ちと環境構成)	予習：テキストを読む。 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
5	遊びの中で気付く他者の気持ち ～いざこざの場面から～	予習：テキストを読む。 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
6	幼児期の終わりまでに育てて欲しい姿から規範意識を育む教師の視点	予習：テキストを読む。 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
7	ルールのある遊びの中で学ぶとは ～鬼ごっこ遊び～	予習：鬼ごっこ遊びについてルールを考え実践し考察する。 復習：演習を通して学んだ保育者の配慮をまとめ提出する。			1	
8	体と心が育つ ～鬼ごっこ遊び～	予習：テキストを読む。 復習：ノートを整理し事例をまとめる。			1	
9	児童文化財を使用した人間関係指導法 (1) 作成・演習	予習：指導案の作成 復習：パネルシアター作成・指導案修正			1	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 パネルシアターを介した人間関係指導法 (2) 計画・指導計画案立案	予習：指導案の作成	1
	復習：パネルシアター作成・指導案修正	
11 模擬保育・ロールプレイと振り返りの視点	予習：模擬保育実践から応答的な関わりを学ぶ	1
	復習：ノートを整理し事例をまとめる。	
12 保育者の援助と留意点について	予習：テキストを読む。	1
	復習：ノートを整理し事例をまとめる。	
13 多様性の尊重と子ども理解	予習：実践から計画・立案・実践目考察を学ぶ。	1
	復習：ノートを整理し事例をまとめる。	
14 地域・保護者との人間関係	予習：テキストを読む。	1
	復習：ノートを整理し事例をまとめる。	
15 現代における人間関係の特徴と課題 (子ども・おとな) まとめ	予習：現代社会の人間関係の課題について事前に新聞記事等調べる。	1
	復習：人間関係指導法のキーワードをまとめる	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布資料・ノートを整理し、小課題を記述し理解を補足する。 動きながら遊びを通じて、人間関係のねらいを理解し、指導案の立案・考察する力を身に付ける。 		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>定期試験(70%)、提出物(20%)、グループワーク参加姿勢態度(10%)</p>		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用し考え、発表し、仲間の考えを聴きコミュニケーション能力を高める。 動きながら学び、遊びを通じた、指導案の立案・実践・考察と課題を取り上げコメントをする。 		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1DE12	1年次 前期	演習	1	久保田真規子	<ul style="list-style-type: none"> ・認定絵本士養成講座(中央法規) ・言語表現教材 みらい
科目名	言語表現		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</p> <p>(1) (4) (5) (2) (4) (5) (1) (3) (4) (6)</p>						
<p>〔授業の概要〕</p> <p>講義形式の学びから乳幼児の言葉の発達の基本的な概念を学びます。その後、幼児の姿に沿う具体的な指導の在り方について実践的に考えます。言葉で表現する具体的な遊びや、絵本・紙芝居など言葉が育つ指導方法と環境について学びます。元幼稚園園長、元子育て支援施設職員、絵本セラピストの実践者が保育・教育場面を想定し、授業を担当する。領域「言葉」の理解と言葉で表現する力を身につける内容です。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <p>領域「言葉」の目的内、ねらい、内容について0歳から5歳までの具体的な子どもの姿と結びつけながら理解します。保育者の役割について理解し幼児期に育む言葉に対する感覚を理解します。そして、表現する力を養うため、実践力と保育を構想する力を学生自らが磨きます。</p>						
〔授業の計画/事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1	「言語表現」の意義と内容			予習：事前配布資料を読む		1
				復習：講義内容をまとめ課題を調べる。		
2	0歳から5歳までの言語の発達 (視聴覚教材)			予習：事前配布資料を読む		1
				復習：講義内容をシートにまとめる。		
3	言葉で表現する楽しさを感じる遊びとは (教材研究)			予習：言葉遊びについて調べる		1
				復習：講義内容をノートにまとめる。		
4	言葉のやりとりが生まれる環境 (視聴覚教材)			予習：言葉遊びについて調べる		1
				復習：講義内容をノートにまとめる。		
5	言語表現と児童文化財			予習：絵本の読み聞かせについて調べる		1
				復習：アンケートに回答 講義内容をまとめる		
6	絵本の読み方聞かせ方①			予習：好きな絵本を準備する①		1
				復習：講義内容をまとめる。		
7	絵本の読み方聞かせ方②			予習：好きな絵本を調べる②		1
				復習：講義内容をまとめる。		
8	絵本セラピー ～地域活動から見えること～			予習：児童文化財を調べる		1
				復習：絵本リストを作成する		
9	発達段階に合わせた絵本の選び方1			予習：事前配布資料を読む		1
				復習：講義内容をまとめる		
10	発達段階に合わせた絵本の選び方2			予習：事前配布資料を読む		1
				復習：講義内容をまとめる		

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 絵本以外のお話 ～昔語り・素話～	予習：昔話について調べる	1
	復習：講義内容をまとめる	
12 テーマに合わせた絵本選び1	予習：テーマに合わせた絵本2冊準備する	1
	復習：絵本リストを作成する	
13 テーマに合わせた絵本選び2	予習：テーマに合わせた絵本2冊準備する	1
	復習：講義内容をまとめる	
14 テーマに合わせた絵本選び3	予習：テーマに合わせた絵本2冊準備する	1
	復習：絵本リストを作成する	
15 まとめ	15回の授業を振り返り子どもの言葉の発達と、絵本との関係、言葉で表現をする具体的な方法について考察をします。	1
〔学習上の留意点・準備等〕 幼児期の言葉の体験の一つに絵本があります。色々な絵本に出会い親しんでおきましょう。		
〔成績評価方法と評価基準〕 レポートの内容 (50%) 実習への取り組み (50%)		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 実習で発表する内容についてコメントします。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1DK13	1年次 前期	講義	2	鷺尾智恵子	保育所保育指針(厚労省) 乳児保育(ミネルヴァ書房) 乳児保育(エイデル研究所)
科目名	乳児保育I		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (5) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 労働人口減少や人材の社会的活躍の期待・個人意志尊重など妊娠出産育児を取り巻く環境の変化がある。それに伴い出産数の減少がありながらも、低年齢から保育を依頼する機会も増え乳幼児保育の重要性が高まっている。乳幼児保育の意義・目的と役割・現状と課題について学ぶ。地域での子育て支援の現場での体験や保育現場の状況を集め関心や理解が深まる内容とする。学びながら乳児とその家族に対する愛情と尊敬の念が高まり乳児保育を理解する授業とする。 助産師としての実務経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 (1) 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について学ぶ。 (2) 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた3歳未満児の保育の内容と運営体制について理解する。 (4) 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について学ぶ。						
〔授業の計画/事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容			事前事後学修の内容			所要時間
1	オリエンテーション (1) 第1章 乳児保育の意義 レッスン1 乳児保育の役割		○シラバスを読み、授業の展開を把握 ○テキストの活用法を確認 予習：P 1～11(ミネルヴァ) P 2～12(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
2	(2) レッスン2 乳児保育の現状 ・保育者の役割の重要性		予習：P 12～22(ミネルヴァ) 復習：インシデント①～⑥からの学びをまとめておく		4	
3	(3) 第2章 3歳児未満の発達と保育 レッスン3・4 ・ヒトの発達と保育の営み(0歳児前期)		予習：P 25～31(ミネルヴァ) P 13～38(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
4	・ヒトの発達と保育の営み(0歳児後期)		予習：P 31～38(ミネルヴァ) P 39～68(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
5	・ヒトの発達と保育の営み(1歳児前期)		予習：P 39～45(ミネルヴァ) P 69～83(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
6	・ヒトの発達と保育の営み(1歳児後期)		予習：P 39～45(ミネルヴァ) P 84～98(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
7	・ヒトの発達と保育の営み(2歳児)		予習：P 45～51(ミネルヴァ) P 99～111(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
8	・ヒトの発達と保育の営み(2歳児)		予習：P 45～51(ミネルヴァ) P 99～111(エイデル) 復習：授業内容の振り返り		4	
9	レッスン5 乳児や家庭を取り巻く環境と 子育て支援		予習：P 52～67(ミネルヴァ) 復習：課題について自分の考えをまとめておく		4	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 レッスン6 さまざまな施設と乳児の保育	予習：P67～83(ミネルヴァ) 復習：課題について整理しておく	4
11 第3章 乳児の保育内容 レッスン7 乳児の保育形態 ・一人ひとりを大切にする保育、担当制の保育と実際	予習：P85～94(ミネルヴァ) 復習：エピソード・インシデントを通して自分の考えをまとめておく	4
12 レッスン8 乳児の環境構成 ・室内環境をとおして期待できる育ち ・安全面に配慮した室内環境	予習：P95～99 P106～109(ミネルヴァ) 復習：課題について自分の考えをまとめておく	4
13 ・基本的な生活習慣の習得と保育者の関わり ・入園期の保育実践と配慮ポイント	予習：P99～105(ミネルヴァ) 復習：授業内容の振り返り	4
14 (4) レッスン14 保護者とのパートナーシップを高める	予習：P179～192(ミネルヴァ) 復習：インシデント①・②からの学びをまとめておく	4
15 (4) レッスン15 関係機関との連携	予習：P193～199(ミネルヴァ) 復習：課題について調べ、まとめておく	4
〔学習上の留意点・準備等〕 学習内容のまとめ・振り返りを行い内容の理解を深める機会とする。課題に対して情報収集し自身の意見を持つ。地域で生活する乳幼児に関心を持ち観察する視点を持つことを意識する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 試験(60%) 課題への取り組み(20%) 授業態度(20%) 積極性・学習意欲		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 ・試験及び授業後の課題等の提出については添削後返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1DE14	1年次 後期	演習	1	畠山 裕子	保育所保育指針(厚労省) 乳児保育(ミネルヴァ書房) 乳児保育Ⅰ・Ⅱ(萌文書林)
科目名	乳児保育Ⅱ		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (5) (8) (10) (11)						
〔授業の概要〕 乳児保育Ⅰにおいて履修した基本的理論を踏まえ、乳児期における遊びや生活の具体的な配慮や方法の実践的な理解を深める。テキストを活用し、演習・グループワークを通して一人ひとりを大切にする援助の実際や保育の専門性を学ぶ。保育行政と保育園長の勤務経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 (1) 3歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解する。 (2) 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解する。 (3) 演習を通して、乳児保育における配慮の実際について具体的に理解を深める。 (4) 上記(1)～(3)を踏まえ、乳児保育の計画の作成について、具体的に理解する。						
〔授業の計画/事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション 乳児保育の専門性	シラバスを読み、授業の展開を把握			1	
2	乳児保育の基本 保育者の受容的で応答的な関わり	予習：テキストⅠ・Ⅱ P19～P23、P141～P148 保育指針 P13～ 復習：授業内容の振り返り			1	
3	乳児保育の遊びと援助の実際① 0歳児	予習：テキストⅠ・Ⅱ P103～P122 乳児保育 P110～P113 復習：授業内容の振り返り			1	
4	乳児保育の遊びと援助の実際② 1歳児	予習：テキストⅠ・Ⅱ P119～P129 復習：授業内容の振り返り			1	
5	乳児保育の遊びと援助の実際③ 2歳児	予習：テキストⅠ・Ⅱ P131～P137 復習：授業内容の振り返り			1	
6	生活と援助の実際① 食事	予習：テキストⅠ・Ⅱ P165～P174 復習：授業内容の振り返り			1	
7	生活と援助の実際② 排泄・着脱	予習：テキストⅠ・Ⅱ P175～P178 復習：授業内容の振り返り			1	
8	生活と援助の実際③ 睡眠・清潔	予習：テキストⅠ・Ⅱ P179～P184 復習：授業内容の振り返り			1	
9	乳児保育における健康と安全	予習：テキストⅠ・Ⅱ P155～P164 P191～P192 復習：授業内容の振り返り			1	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 長期的指導計画と短期的指導計画	復習：授業内容の振り返り	1
11 集団・個別の指導計画	復習：授業内容の振り返り	1
12 乳児保育を支える連携 職員間・保護者	予習：テキストⅠ・Ⅱ P151～P153 復習：授業内容の振り返り	1
13 発達や興味に即した環境構成 (グループワーク)	予習：環境構成について調べる 復習：課題についてまとめる	1
14 発達や興味に即した環境構成 (個人製作発表)	予習：課題発表の準備をする 復習：課題発表の振り返り	1
15 乳児保育Ⅱのまとめ	授業内容を振り返り、気づきをまとめる	1
〔学習上の留意点・準備等〕 学習したことについて振り返りを行い、学びを確実なものにする。課題について自ら考え、他の学生と協力して問題解決をし発表できるようにする。随時授業ノートや配布物を整理する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 試験 (60%) 課題への取り組み (20%) 授業態度 (20%)		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 試験及び授業内容の確認をし、疑問点を解消する。試験及び課題の添削後返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2DE21	2年次 前期	演習	2	鷲尾智恵子	テキスト利用無し 必要時「プリント配布」
科目名	乳児保育Ⅲ		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (8) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 地域社会の中での乳児保育支援の連携がどのように行われているのか、具体的な事例を挙げながら対応の実際を理解する機会とする。 支援の連携と必要性を学ぶことで保育者の役割の重要性に気づき、支援につながる思考・行動を取ることが出来ることを学べる授業としていく。 助産師としての実務経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 (1) 地域社会での支援の連携と必要性を理解する。 (2) 多様な保育施設の保育者として、自身の置かれた施設での支援の役割と重要性に気づく。 (3) 支援につながる思考を身に着けることが出来る。 (4) 支援の具体的な計画を立てることが出来、行動できる力が身につく。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 妊産婦の支援・病院 (医師・助産師・看護師・栄養士)				予習：妊娠出産に関心を持ち情報を収集する。 復習：授業内容を整理する。		1
2 妊産婦の支援・行政 (保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士・児童福祉課)				予習：妊産婦の支援に関心を持ち情報を収集する。 復習：授業内容を整理する。		1
3 新生児から2カ月児の特徴 乳児の発達				予習：新生児の特徴について理解しておく 復習：授業内容を整理する。		1
4 産後うつ・育児相談の多様性①				予習：産後の心の変化について関心を持ち情報を得ておく。 復習：授業内容を整理する。		1
5 育児相談事業・育児相談の多様性②				予習：育児の悩みの多様性に関心を持ち内容を調べる。 復習：授業内容を整理する。		1
6 育児は育自・育児相談の多様性③				予習：育児の悩みの多様性に関心を持ち内容を調べる。 復習：授業内容を整理する。		1
7 ベビーマッサージ他				予習：親子のふれ合いに関心を持つ 復習：授業内容を整理する。		1
8 育児支援の輪 子育て支援センター、学習館・児童館、コミュニティー 女のスペース新潟長岡・子育て応援グループ他				予習：子育て支援の施設・団体についての情報を得ておく。 復習：授業内容を整理する。		1
9 育児相談の基礎 (自分の思考の傾向を知る)				予習：心理学の関連資料等目を通しておく。 復習：授業内容を整理する。		1
10 育児相談の基礎 (オムツはずし、睡眠リズム)				予習：乳児の発育発達関連資料に目を通しておく。 復習：授業内容を整理する。		1

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 育児相談の基礎 (0才へのほめ方しかり方)	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理する。	
12 育児相談の基礎 (イヤイヤ期とは)	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理し振り返りをしておく。	
13 育児相談の基礎 (乳幼児期からの性教育)	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理し振り返りをしておく。	
14 育児相談の基礎 (きょうだい関係について)	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理し振り返りをしておく。	
15 まとめ 子育ての基本は乳児期	予習：授業内容を整理しておく。	1
	復習：支援の在り方・方向について自分なりの考えをまとめておく。	
〔学習上の留意点・準備等〕 社会の子育ての問題に関心を持つ。 心理・コミュニケーション論の振り返りをしておく。		
〔成績評価方法と評価基準〕 試験 (50%) 課題内容 (40%) 授業姿勢 (10%)		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 試験・課題等について添削後返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1DE15	1 年次 後 期	演 習	1	俣田真紀子	子どもの健康と安全 中根淳子/佐藤直子編著 2,200円 (ななみ書房) 適宜資料配布
科目名	子どもの健康と安全		担当形態			
			単 独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3)						
〔授業の概要〕 「子どもの保健」で学んだことに基づいて、健康と安全の確保に必要な、保育環境への援助、衛生管理、事故防止、安全・危機管理、体調不良時の対応、感染症対策、疾病や障害のある子どもの対応などを具体的に学び、このような保健活動を円滑に推進するには、組織的に取り組む保健計画が必要であることを理解する。子育てのパートナーとして、理論に基づいた実践ができる保育者になることを目指す。保健師として地方自治体の保健業務の経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 1. 保育環境の援助ができるように理解する。 2. 衛生管理、事故防止、安全・危機管理ができるように理解する。 3. 体調不良時の対応が適切にできるように理解する。 4. 感染症対策が実施できるように理化する。 5. 個別的配慮を要する子どもへの対応が適切にできるように理解する。 6. 保健計画の立案及び評価ができるように理解する。						
〔授業の計画/事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	保育環境及び援助 保育環境・個別対応と集団全体の健康安全管理について	予習：シラバスを読み、概要、目標、内容などを把握しておく。 復習：教科書P9～11までと資料の見直し。			1	
2	保育における健康安全管理の実際 (1) 衛生管理について	予習：教科書P15～23を読み、理解を深める。 復習：現場の衛生管理の実施方法を整理しておく。			1	
3	保育における健康安全管理の実際 (2) 事故防止及び安全対策について	予習：教科書P25～28を読み、理解を深める。 復習：事故死因、発生状況、発達段階から予想される事故などを整理しておく			1	
4	保育における健康安全管理の実際 (3) 危機管理・災害への準備	予習：教科書P29～33を読み、理解を深める。 復習：授業内容を見直し整理をしておく。			1	
5	体調不良等に対する適切な対応 (1) 発熱・嘔吐・下痢・咳・発疹・脱水・けいれんについて	予習：資料、教科書P37～51を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、どのような手当をするのか整理しておく。			1	
6	体調不良等に対する適切な対応 (2) 応急手当：創傷処置・頭部打撲・脱臼・鼻出血・やけどなどについて	予習：資料、教科書P54～57を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、どのような手当をするのか整理しておく。			1	
7	体調不良等に対する適切な対応 (3) 応急手当：誤飲・誤嚥・溺水・熱中症・食物アレルギー緊急対応について	予習：資料、教科書P58～66を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、どのような手当をするのか整理しておく。			1	
8	体調不良等に対する適切な対応 (4) 応急手当：救急処置及び救急蘇生法について	予習：資料、教科書P67～74を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、心肺蘇生の方法、気道異物除去方法などを整理しておく。			1	
9	感染症対策 小テストの実施、集団発生の予防・投薬について	予習：資料、教科書P79～87を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、感染症の流行を防ぐ方法を整理しておく。			1	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 保育における保健的対応の基本的な考え方について	予習：資料、教科書P89～110を読み、理解を深める。	1
	復習：授業を見直し、内容を整理しておく。	
11 個別な配慮を必要とする子どもへの対応 (1) 慢性疾患 (腎疾患・糖尿病・循環器)、アレルギー疾患の子どもについて	予習：資料、教科書P89～117を読み、理解を深める。	1
	復習：授業を見直し、内容を整理しておく。	
12 個別な配慮を必要とする子どもへの対応 (2) 精神疾患、発達障害、医療ケアを必要とするの子どもについて	予習：資料、教科書P89～117を読み、理解を深める。	1
	復習：授業を見直し、内容を整理しておく。	
13 個別な配慮を必要とする子どもへの対応 (3) 障害のある子どもの対応について	予習：資料、教科書P117～119を読み、理解を深める。	1
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
14 健康安全管理に実施体制 (1) 小テストの実施、職員間の連携と組織的取組・保健活動の計画	予習：資料、教科書P121～126を読み、理解を深める。	1
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
15 健康安全管理に実施体制 (2) 母子保健・地域保健と保育、家庭・専門機関・地域との連携について	予習：資料、教科書P127～136を読み、理解を深める。	1
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>「子どもの保健」は復習をしておく。限られた時間内で、多くの実践的なことを学ぶので、前もって予習をしておくことが望ましい。授業中はその場でやってみたり、デモンストレーションなどを取り入れるので、協力的な態度を希望する。復習は教科書、配布資料を活用する。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>授業態度、定期試験で評価する。</p>		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <p>まとめの小テストを実施し、添削をして返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2DE19	2年次 後期	演習	1	渡邊 彩	適宜、資料を配布する
科目名	子育て支援		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (8) (9) (11)						
〔授業の概要〕 子育て支援の基礎となる専門的知識を理解するとともに、子育て支援における関係機関との連携、保護者への保育の指導の在り方、保護者理解、子育て支援における計画・記録・評価について演習を通して学ぶ。 教育現場での経験があり、地域での子育て支援に携わっている教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・保育者の行う保育の専門性を背景とした、保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援についての基本的な知識を理解する。 ・保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即して考察し、支援内容と方法について具体的に理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 子育て支援と保育				テキストを読んで理解を深める。		1
2 子どもの権利と子育て支援				テキストを読んで理解を深める。		1
3 保育の専門性と子育て支援				テキストを読んで理解を深める。		1
4 子育て支援の内容				テキストを読んで理解を深める。		1
5 子育て支援における計画・記録・評価				テキストを読んで理解を深める。		1
6 保護者との信頼関係の構築				テキストを読んで理解を深める。		1
7 保護者の理解とかかわり方				テキストを読んで理解を深める。		1
8 地域資源を活用した子育て支援				テキストを読んで理解を深める。		1
9 保育所の特性を活用した子育て支援				テキストを読んで理解を深める。		1

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 特別な支援を活用した子育て支援	テキストを読んで理解を深める。	1
11 課題のある保護者への子育て支援	テキストを読んで理解を深める。	1
12 保育所における子育て支援	テキストを読んで理解を深める。	1
13 保育と子ども家庭支援 1	テキストを読んで理解を深める。	1
14 まとめと今後の課題	資料を観て理解を深める。	1
10 まとめと今後の課題	資料を観て理解を深める。	1
〔学習上の留意点・準備等〕 ・随時、参考資料・参考文献を紹介する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 中間レポート(50%)、期末レポート(50%)によって評価する。		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 講義後に出された質問・疑問等の内容を整理し、次回以降の講義で説明・コメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2BE09	2年次 後期	演習	1	田代 健一	『演習・保育と相談援助』 (第2版) 監修 前田 敏雄 株式会社みらい
科目名	保育相談の実際		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (8) (9) (10) (11) (13)						
〔授業の概要〕 保育における相談援助の知識と技術を身につけることにより、福祉専門職の自覚を形成し、保育者として必要なソーシャルワークのあり方を修得する。また、現在の子どもを取り巻く社会状況を理解・考察し、問題意識を常に持つ姿勢を忘れない保育者を目指す。 4～5名でグループワークを行い、自分たちの意見をまとめて発表し、また他者の意見を傾聴する。 児童相談所での勤務経験を有する教員が相談の実践例を用いて相談援助の過程を指導する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・生活課題の種類と背景が考察できるようになる。 ・援助に必要な身近な社会資源が理解できるようになる。 ・福祉の専門性に基づく事例の対応方法が理解できるようになる。 ・福祉専門用語が理解できるようになる。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容			事前事後学修の内容			所要時間
1	授業・テキストの概要説明	予習：テキストの序文・目次等を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
2	保育と相談援助	予習：テキストの第1章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
3	相談援助とは何か	予習：テキストの第2章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
4	相談援助の過程と連携	予習：テキストの第3章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
5	相談援助者になるために（自己覚知）	予習：テキストの第4章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
6	相談援助者になるために（他者理解）	予習：テキストの第5章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
7	基本的態度、コミュニケーションスキル	予習：テキストの第6章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
8	非言語的コミュニケーションの理解	予習：テキストの第6章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
9	相談援助者になるために（記録）	予習：テキストの第7章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				
10	生活課題の把握	予習：テキストの第8・9章を読んでもらうこと			1	
		復習：キーワードの内容・意味を整理すること				

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 相談援助の過程（インテークとアセスメント）	予習：テキストの第10章を読むこと	1
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
12 相談援助の過程（援助計画）	予習：テキストの第11章を読むこと	1
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
13 相談援助の過程（実施、評価）	予習：テキストの第11章を読むこと	1
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
14 児童虐待の事例	予習：テキストの第15章を読むこと	1
	復習：キーワードの内容・意味を整理すること	
15 まとめ	配布資料を参考にしてソーシャルワークについて理解を深める	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通じて他者理解を促進する。 ・随時プリントを配布して理解を深める。 		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間レポート(50%)、期末レポート(50%)によって評価する。 		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <p>講義中や講義後に出された質問・疑問等の内容を整理し、次回以降の講義で説明・コメントする。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2CE07	2年次 通年	演習	2	稲場 建	子どもの理解と保育・教育相談(第2版) (みらい)、小田豊・秋田喜代美編
科目名	幼児理解と教育相談		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 教育の基本となる幼児理解の意義や考え方、原理や発達の知識などを理解し、その基礎的態や姿勢を学ぶと共に、幼児理解の方法としての観察や記録、個と集団の人間関係やその背景の理解を具体的な事例などで学び理解する。また、教育相談の意義や考え方、カウンセリングマインドの重要性を理解し、教育相談における基礎的な理論と知識及び姿勢、技法を学ぶと共に、教育相談の具体的な進め方や、組織的な連携の重要性と意義を発達課題や事例などを通して具体的に理解する。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・幼児理解の意義や考え方、その原理を理解する。 ・観察、記録の方法及び個と集団の関係を捉える基礎的な方法を理解する。 ・教育相談の意義や考え方及び基礎的な理論を理解する。 ・カウンセリングマインドの重要性及びカウンセリングの基礎的な技法について理解する。 ・教育相談の進め方及び組織的な連携の重要性と意義について理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	幼児理解の意義 ～基礎的な姿勢や態度～	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握しておく。 復習：テキスト第1章を読み返す。			1	
2	幼児理解の視点 ～子どもの行為の意味や発達の原理～	予習：テキスト第2章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
3	幼児理解における「発達」と「育ち」について	予習：テキスト第5章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
4	幼児理解における「発達段階」と「発達過程」について	予習：テキスト第2章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
5	幼児理解と援助の方法 ～かかわりと理解と修正について～	予習：前日に配布した資料を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
6	幼児理解から生まれる「ねらい」と援助について	予習：前日に配布した資料を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
7	幼児理解における観察の意義と目的	予習：前日に配布した資料を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
8	幼児理解における記録の意義と目的	予習：前日に配布した資料を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
9	幼児理解のための園内研修、カンファレンスの意義	予習：テキスト第8章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
10	カンファレンスのあり方 ～事例をもとにディスカッションしてみる～	予習：テキスト第8章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
11	障害のある子どもの理解と対応について① ～状況、背景の理解、保護者理解～	予習：テキスト第4章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
12	障害のある子どもの理解と対応について② ～個と集団、個別指導、関係者連携～	予習：テキスト第4章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	
13	カウンセリングマインドと幼児理解 ～事例を通して考える問題行動や不適応の意味～	予習：テキスト第1章を読んでくる。 復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
14 カウンセリングマインドと保護者理解 ～事例を通して考える保護者との関わり～	予習：テキスト第1章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
15 家庭支援、子育て支援の必要性について ～保護者への対応、基礎的な態度の理解～	予習：テキスト第3章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
16 教育相談の意義と課題について ～グループワークを通しての検討～	予習：テキスト第8章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
17 相談を支える心理学の基礎的理論① ～発達段階など～	予習：テキスト第2章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
18 相談を支える心理学の基礎的理論② ～発達課題など～	予習：テキスト第2章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
19 相談を支える心理学の基礎理論③ ～精神分析、認知行動療法など～	予習：前日に配布した資料を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
20 相談におけるカウンセリングマインドの重要性と技法① ～ロールプレイ・つながることと見守ること～	予習：テキスト第6章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
21 相談におけるカウンセリングマインドの重要性と技法② ～ロールプレイ・受容と共感～	予習：テキスト第6章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
22 相談と子どものアセスメント	予習：テキスト第5章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
23 相談における危機介入 ～対応と関係者連携のあり方～	予習：テキスト第7章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
24 相談体制と連携のあり方① ～組織的対応と連携～	予習：テキスト第7章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
25 相談体制と連携のあり方② ～地域の医療・福祉等の外部専門機関との連携～	予習：テキスト第7章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
26 相談事例検討① ～目標の立て方、進め方～	予習：テキスト第2部事例編を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
27 相談事例検討② ～情報共有と支援など～	予習：テキスト第2部事例編を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
28 保護者理解と支援 ～保護者のニーズ把握と情報共有、連携～	予習：テキスト第3章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
29 子ども理解と相談支援 ～受容・傾聴・共感的理解など～	予習：テキスト第5、6章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
30 支援者自身のメンタルヘルスと課題・まとめ	予習：前日に配布した資料を読んでくる。	1
	復習：今までの学習内容の整理、振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕 ・ 随時プリントを配布し、理解を補足する。 ・ ロールプレイ、グループワーク、ディスカッションにおいては、考えたり、発言したりすることが理解を深めることにつながるため、積極的に取り組む心構えをもって臨むこと。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業内課題40%、レポート60%。		
〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2CE07	2年次 前期	演習	1	俣田真紀子	適宜プリント配布
科目名	子どもの保健実習		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (5) (6)						
〔授業の概要〕 子どもの保健Ⅰ（1年次）で学んだことに基づき、乳幼児の健全な発育・発達の支援と、心身活動の中で生じる事故や異常な状態に対する適切な手当や処置ができるように、理論に基づいた実践的技術を理解する。さらに子どもの心身の健康増進や安全を確保するための施設や地域社会の取り組みについても理解する。 保健師として地方自治体の保健衛生業務の経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 1 子どもの健康増進、感染・事故防止の適切な対応について具体的に学ぶ。 2 施設における子どもの健康及び安全の実施体制について理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容			事前事後学修の内容			所要時間
1	保育者の健康管理を考える。 自身の健康管理の認識を深める。	予習：シラバスを読み、授業の概要、目標、内容を理解する。 復習：子どもの保健を読み、自身の健康管理を認識する。			1	
2	熱中症予防対策を考える、脱水時の補液のつくり方 熱中症予防の啓発が出来るように。	予習：配布資料を読み、熱中症予防について自己学習をしておく。 復習：作成した熱中症予防啓発の指導案を見直しておく。			1	
3	身体発育の評価をする。 成長曲線、カウプ指数を用いた発育評価ができるように。	予習：配布資料の例題に取り組む。 復習：成長曲線、カウプ指数を用いた発育評価ができるように見直しておく。			1	
4	精神発達を評価する (1) 1.6歳、3歳児のチェックポイントとM-CHATの内容を理解する。	予習：配布資料を読み、自己学習をしておく。 復習：授業を見直し、チェックポイントとM-CHATの内容を理解する。			1	
5	精神発達を評価する (2) M-CHATの活用と保護者への対応を考える。	予習：配布資料を読み、自己学習をしておく。 復習：ASD児特有な常同行動の観察、保護者への対応を整理する。			1	
6	身体の清潔、沐浴、座浴 沐浴、座浴を実習する。 お尻の清潔保持を考える。	予習：配布資料を読み、実習の準備を整えておく。 復習：実習での気づき、工夫、反省点を整理して見直す。			1	
7	罨法・温罨法、冷罨法の実際、オブラートの使い方 水枕、氷嚢、湯たんぽの作り方、当て方等を実習する	予習：配布資料を読み、実習の内容を理解し、準備を整えておく。 復習：実習での気づき、工夫、反省点を理解して見直す。			1	
8	包帯法 三角巾の使い方 基本的な取扱い、腕、下肢の包帯法を実習する。	予習：配布資料を読み、実習の内容を理解しておく。 復習：三角巾の基本的な取扱いができるように反復練習をする。			1	
9	乳幼児の養護 抱き方、おんぶの仕方 衣服の着脱、排泄の世話	予習：配布資料を読み、実習の内容を理解しておく。 復習：実習での気づき、工夫、反省点を整理して見直す。			1	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 乳幼児の歯の健康 乳幼児のむし歯の現状 歯のケアの実際	予習：配布資料を読み、実習の内容を理解しておく。 復習：実習での気づき、工夫、反省点を整理し見直す。	1
11 感染防止 (1) 予防接種計画を立案する。 グループで検討、計画案を提出する。	予習：配布資料を読み、理解を深めておく。 復習：計画案の内容に誤りがないか、見直しておく。	1
12 感染防止 (2) 計画の見直し、実施記録から指導内容を考える。 保護者、子どもへの手洗い指導を考える。	予習：配布資料を読み、指導内容を考えてみる。 復習：計画の見直し、手洗い指導の内容を整理しておく。	1
13 日常的な事故、災害、危機管理 (1) ヒヤリハットから事故防止、SIDS、窒息、アレルギー誤食を考える。	予習：配布資料からヒヤリハットの体験内容を理解しておく。 復習：グループ討議をした事故防止の内容を整理しておく。	1
14 日常的な事故、災害、危機管理 (2) どんな初期行動をとらせるか、避難訓練に役立つ遊び等を考える。	予習：配布資料を読み、理解を深めておく。 復習：グループ討議をした初期行動や遊びの内容について整理しておく。	1
15 日常的な事故、災害、危機管理 (3) 施設の安全管理を考える。	予習：配布資料を読み、理解を深めておく。 復習：グループ討議をした施設の安全管理の内容を整理しておく。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>授業では、グループ討議がスムーズに展開するように、課題の事前学習の実施や当日の話し合いなど、協力的な態度を希望する。また、授業の内容は1回限りであるため、欠席は『気づきができない。』『体験ができない。』ことになるので、遅刻、欠席のないように心がけてください。配布資料を活用すること。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>理論に基づいたグループ討議や実習を通して、認識や技術を深めるものであることを考慮し、定期試験で評価する。</p>		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <p>提出物は添削をして返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2DE20	2年次 前期	演習	1	久保田真規子	・『知のゆりかご 子どもの姿からはじめる領域環境』
科目名	保育内容総論Ⅱ		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (5) (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 幼稚園教育要領、保育所保育指針を踏まえ、園生活全体を視野に入れ、保育のねらい・保育内容の基本的理解と実践の統合を目指す。受講生が実習計画を立案・実践、反省・考察を繰り返すことを通し、教材研究や技術の取得、記録の方法を学ぶ内容である。子どもの発達と「養護と教育」を踏まえた保育を観る視点を育み、環境構成・保育実践に磨きをかけることを目標とする。元幼稚園園長・子育て支援施設職員の経験を有する教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・幼稚園教育要領、保育所保育指針を理解し園生活を通し総合的に子どもをとらえる視点を身につける。 ・乳幼児の実態に則した保育内容の・計画・留意点をつかむ。 ・保育者の役割や環境構成の課題をPDCAサイクルで考察する。 ・具体的保育事例から五領域のねらい及び内容とのつながりを理解し「遊び」を通し、協働を学ぶ。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 オリエンテーション				予習：シラバスを読む。 復習：実習日誌・指導案を整理する。		1
2 園生活を通し総合的に子どもをとらえる				予習：教科書を読む。 復習：実習日誌・指導案から事例を取り出す。		1
3 子どもの遊びを捉える視点(視聴覚教材)				予習：教科書を読む。 復習：ノートをまとめる。		1
4 幼児教育の環境構成と実践				予習：サブテキストを読む 復習：ノートをまとめる。		1
5 保育環境の人的・物的環境の関わりと分析				予習：テキストを読む 復習：ノートをまとめる。		1
6 遊びと五領域のねらいと内容のつながり				予習：テキストを読む 復習：ノートをまとめる。		1
7 活動を分析し子どもの姿をとらえる				予習：自身の活動をまとめる。 復習：ノートをまとめる。		1
8 支援を必要とする子ども(個と集団)				予習：テキストを読む 復習：ノートをまとめる。		1
9 あそびで育つ人間関係① (多様な保育活動から)				予習：様々な遊びを調べる 復習：ノートをまとめる。		1
10 あそびで育つ人間関係② (主体的なあそび)				予習：グループで話し合う 復習：ノートをまとめる。		1

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 あそびと五領域の関係 (協同的なあそび)	予習：テキストを読む	1
	復習：ノートをまとめる。	
12 保育内容を深める遊び・児童文化財の理解	予習：テキストを読む	1
	復習：ノートをまとめる。	
13 保育内容を深める遊び・児童文化財の作成	予習：児童文化財を調べる。	1
	復習：児童文化財を作成する。	
14 五領域の理解と指導計画案の作成	予習：児童文化財を作成する。	1
	復習：指導案を作成する。	
15 模擬保育の振り返りと実践の考察	予習：模擬保育で実践する。	1
	復習：実践を考察する。	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の実践計画・立案・実践・考察を保育のPDCA サイクルに合わせて振り返り他者の実践から学ぶこと。 ・保育実践が五領域にどのように関連しているか協働の意味を理解する。 		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五領域を理解した指導案立案・計画・実践・考察を個人でまとめ提出する。 ・グループワークでPDCAサイクルで実践を検討し、発表や取り組み姿勢で評価する。 ・グループワーク40% レポート60% 		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導案立案・計画・実践・考察について保育現場指導者や子どもの姿から振り返る。 		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1EE04	2年次 前期	演習	1	福原 英起 田代 健一	『保育士養成課程 五訂 福祉施設 実習ハンドブック』 喜多一憲 他監修 吉村美由紀 他編 みらい
科目名	保育実習指導 I (施設)		担当形態			
			複 数			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 保育実習 I (施設) は必修科目であり、保育所以外の施設の実習である。これまで学んだ「社会福祉」「社会的養護 I」「子ども家庭福祉」「社会的養護 II」等の福祉関連科目で学んだ知識を実習を通して体験的に理解し深めることを目的とする。実習で初めて障害児・者に接する学生が多いが、事前、事後指導を通じ、個別的理解とその対応の重要性を理解すると共に、保育士の施設での基本的な姿勢等を確認し認識する貴重な学習の機会である。保育所以外の児童福祉施設等で実務経験を有する教員が実践的な対応や係わりを指導する。						
〔授業科目の到達目標〕 1 保育所以外の児童福祉施設等の概要を理解する。 2 施設の利用者の状態や支援、対応について理解する。 3 利用者への個別的理解に基づく援助・支援のあり方を理解する。 4 施設の状況や課題、問題点、制度政策等について理解する。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1	概要説明、実習先伝達	予習：テキストの第 1 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
2	施設実習の目的・意義	予習：テキストの第 I, 2 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
3	施設実習の目的・心構え (実習施設の調査)	予習：テキストの第 2 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
4	保育士の役割	予習：テキストの第 1 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
5	児童福祉施設の理解 1 (知的障害施設)	予習：テキストの第 2 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
6	児童福祉施設の理解 2 (児童養護施設)	予習：テキストの第 3 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
7	児童福祉施設の理解 3 (乳児院・肢体不自由児施設)	予習：テキストの第 4, 7 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
8	実習日誌の記録 1 (知的障害施設関係)	予習：テキストの第 3 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
9	実習日誌の記録 2 (その他の施設関係)	予習：テキストの第 3 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
10	施設実習の目標設定	予習：テキストの第 4 部を読んでくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 事後指導1 実習報告、事後自己評価	予習：テキストの第5部を読むこと	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
12 事後指導2 グループ討議（同種施設）	予習：テキストの第5部を読むこと	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
13 事後指導3 グループ討議（異種施設）	予習：テキストの第5部を読むこと	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
14 事後指導4 グループ発表	予習：テキストの第5部を読むこと	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
15 まとめ	予習：テキストの第7部を読むこと	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習先の施設の情報を収集し事前学習を行うこと。 ・意見交換を通じ多面的理解を図る。 		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業の「ふり返り」（小レポート），各授業の提出物を合わせ評価する。 ・小レポート（20%）提出物（80%） 		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業の「ふり返り」小レポート（200字以上）を提出するが、添削して返却する。 ・実習については適宜必要に応じ個別指導を実施する。 		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1EE04	1年次 後期	演習	1	永井裕紀子 渡邊 彩 松延 毅	「保育・教育実習」大豆生田啓友・三谷大紀 松山洋平編著 ミネルヴァ書房 長島和代編『保育の基本用語』わかば社 保育所保育指針解説 厚生労働省
科目名	保育実習指導Ⅰ (保育所)		担当形態 複 数			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (6) (8)						
〔授業の概要〕 事前指導では、保育所の保育に実習生として参加し子どもと関わることの意味について考えながら実習の心得について学ぶ。また、子どもが示す様々な姿をどう捉え、保育者(実習生)として子どもとどう関わればよいのか。子どもを見る視点と保育者の援助について理解を深めつつ、それを記録に活かす力を養う。教材研究では、保育者役や子ども役になる体験を通して、子どもを主体とした遊びの展開について理解する。事後学習では実習の自己評価を行いながら自己課題を明確にし、次の実習への展望がもてるようにしたい。 保育士として保育所に勤務経験のある教員が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 実習の意義や心得について理解し、社会人としてのマナーを身に付ける。 子どもを見る視点について理解する。 保育記録の方法や内容を理解する。 実習を通して求められる保育者像について考える。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	授業の概要、実習の進め方、実習園の情報収集	保育所保育指針解説 第1章 1. 保育所保育に関する基本原則(1)～(3)を読む			1	
2	保育所とは・実習時期の保育	保育所保育指針解説 第1章 1. 保育所保育に関する基本原則(4)・(5)を読む			1	
3	教育実習Ⅰの振り返り、先輩の実習体験から学ぶ、実習の目標設定	保育所保育指針解説 第1章 2. 養護に関する基本的事項(1)・(2)を読む			1	
4	実習日誌の確認	保育所保育指針解説 第1章 3. 保育の計画及び評価(1)・(2)を読む			1	
5	実習日誌を書いてみる (VTR視聴)	保育所保育指針解説 第1章 3. 保育の計画及び評価(3)～(5)を読む			1	
6	実習日誌を書いてみる	保育所保育指針解説 第1章 4. 幼児教育を行う施設として共有すべき事項を読む			1	
7	教材研究と実践(絵本)	保育所保育指針解説 第2章 幼児保育に関わるねらい及び内容を読む			1	
8	教材研究と実践の振り返り	保育所保育指針解説 第2章 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容を読む			1	
9	子ども観と援助 登園	保育所保育指針解説 第2章 3歳以上児の保育に関するねらい及び内容を読む			1	

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子ども観と援助 遊び	保育所保育指針解説 第2章 保育の実施に関して留意すべき事項を読む	1
11 子ども観と援助 食事	保育所保育指針解説 第3章 健康及び安全の1・2を読む	1
12 子ども観と援助 午睡	保育所保育指針解説 第3章 健康及び安全の3・4を読む	1
13 実習のオリエンテーション	実習園とのオリエンテーション結果を訪問担当教員に報告する	1
14 実習に関わる留意事項 (実習の心得・人権の考慮・守秘義務)	プリント「実習に関わる留意事項」を理解する	1
15 実習中の連絡方法、実習後の日誌提出、礼状	実習中の連絡方法、実習事後の取り組み内容を理解する	1
16 実習の振り返り・個別面談	保育者としての自分を振り返る	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 実習園によって実習の方法は異なる。各自が実習園の実習方針を理解し、分からないことがあれば教員に相談するなど“ほう・れん・そう”を大切にすること。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 授業への取り組み(20%)・提出物(80%)によって評価する。</p> <p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2EE06	2年次 前期	演習	1	永井裕紀子 渡邊 彩 松延 毅	授業中に適宜資料を配布する
科目名	保育実習指導Ⅱ		担当形態			
			複 数			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (6) (8) (11)</p>						
<p>〔授業の概要〕 保育実習Ⅰを踏まえ保育実習Ⅱの事前事後指導を行う。事前学習では子どもの発達や興味・関心、実習時期の保育の実態に応じた指導計画案の作成や教材について学習する。また、模擬保育実践を通じて、保育内容の具体的な指導法や保育を改善する視点等について総合的に学ぶ。事後学習では実習の自己評価を行い、保育者としての自分を省察し、課題を明確にする。保育士として保育所に勤務経験のある教員が授業を担当する。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕 他教科での学びを有機的に関連づけながら、実習時期の季節や子どもの発達に応じた指導計画案が作成できる。模擬保育実践と振り返りを通じて保育内容の指導法を総合的に学ぶと共に保育を改善する視点を身に付ける。保育実習Ⅱの総括と評価を行い、保育者としての自己の課題を考える。</p>						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 保育実習Ⅰの振り返り・保育実習Ⅱ及び保育実習指導Ⅱの概要・保育実習Ⅱの目標設定				実習園の情報を得る。		1
2 実習時期の保育の様子・模擬保育実践日の調整				保育所における子どもの生活や子どもの育ちの様子について復習する。		1
3 指導計画案の考え方と作成方法				子どもの興味・関心、発達にあった遊びを調べる。		1
4 子どもの発達や興味・関心に沿った遊びの検討(教材研究・指導計画案の作成)				教材研究をする。		1
5 1日責任実習の指導計画案の作成方法・実習日誌の扱いについて				模擬保育の指導計画案を完成させる。		1
6 模擬保育の準備・指導計画案の修正(個別指導)				模擬保育の指導計画案を再考し完成させる。		1
7 指導計画案に基づく模擬保育①				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1
8 指導計画案に基づく模擬保育②				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1
9 模擬保育の振り返り(前半)				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1
10 指導計画案に基づく模擬保育③				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1

〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 指導計画案に基づく模擬保育④	子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。	1
12 実習園とのオリエンテーションについて	実習園訪問担当教員にオリエンテーションの結果を報告する。	1
13 指導計画案に基づく模擬保育⑤	子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。	1
14 模擬保育の振り返り(後半)・実習の心得・諸連絡等	配付プリント「実習の心得」について理解する。	1
15 保育実習Ⅱの総括(個別面談)	保育者としての自分を評価する。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 指導計画案の作成、模擬保育の実践については、早めに教員に相談をし点検を受けること。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 授業態度・提出物・模擬保育実践等から総合的に評価する。</p> <p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1EJ09	1年次 前期	実習	2	小川 崇 白井智佳子	特に指定しない。随時資料を配付する。
科目名	教育実習 I		担当形態			
			複 数			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔実習の概要〕 教育実習 I では、幼稚園実習に際しての基本的な理解や心得、具体的な手続きや学習内容、注意事項や留意すべき事柄について事前学習で学ぶ。これを踏まえて、実習では幼稚園で展開される保育の実際に触れ、個々の子どもの姿や子ども集団における関係のあり方、また保育者の子どもへの直接的・間接的働きかけ（援助・環境構成）に関して、見学・観察・参加を通して、具体的に理解することが求められる。実習後には、振り返りと自己評価を行い、次の実習に向けて課題が持てるよう、事後学習の時間を設ける。幼稚園教諭・園長経験を有する教員が授業を担当する。						
〔実習の到達目標〕 ・実習生（社会人）としての常識やマナーを身につける ・実習生として積極的子どもや実習園の保育者と関わり、実際の保育について理解を深める ・実習での経験を振り返って、次の実習につながる課題をもつ						
〔実習の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
実 習 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 オリエンテーション				予習： 復習：授業内容を振り返り、実習の概要について理解する		
2 教育実習の意義と目標				予習： 復習：授業内容を振り返り、目的と意義を理解した上で実習に望めるようにする		
3 実習生（社会人）としての基本的な心構え 自己管理の重要性				予習： 復習：授業の内容を振り返り、普段から実践するようにする		
4 観察実習の概要				予習： 復習：授業の内容を振り返り、見学・観察・参加実習の意味を理解する		
5 観察のポイント				予習： 復習：授業の内容を整理し、実習時に活かせるようにする		
6 事前オリエンテーションの受け方				予習： 復習：オリエンテーション時に何を質問するか整理する		
7 実習中の基本的なマナーと実習の準備				予習： 復習：授業の内容を整理し、実習時に活かせるようにする		
8 実習日誌の作成と活用 観察日誌 I の書き方				予習： 復習：授業の内容を振り返り、観察日誌 I の書き方を練習する		
9 実習日誌の作成と活用 観察日誌 II の書き方				予習： 復習：授業の内容を振り返り、観察日誌 II の書き方を練習する		
10 実習日誌の作成と活用 その他の部分の書き方				予習： 復習：授業の内容を振り返り、事前に記入できる部分を記入する		

〔実習の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
実 習 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 事後学習 礼状の作成と記録の整理	予習：	
	復習：礼状を作成し、実習園へに向けて郵送する	
12 事後学習 記録の整理と自己評価	予習：	
	復習：自己評価を行った上で、自らの課題を認識する	
13 事後学習 個別面談 第1グループ	予習：	
	復習：個別面談を通して、自らの課題を認識する	
14 事後学習 個別面談 第2グループ	予習：	
	復習：個別面談を通して、自らの課題を認識する	
15 事後学習 実習後の課題の共有	予習：	
	復習：他の受講者の課題も共有した上で、自らの課題を認識する	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 講義形式が多くなるが、そこで学ぶことを自らのものとするために様々な形式の学習を取り入れる。受講者の積極的な参加を求める。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕 事前学習、事後学習、各種提出物(計10%)、実習日誌(40%)、実習園による評価票(50%)によって評価する。なお、提出物等の忘れや遅れは認められないので注意すること。</p>		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 授業時の提出物や授業時の発表等に対しては、授業中等に適宜フィードバックする。</p>		

科 目		開講時期	授業形態	単位	担 当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	2EJ10	2年次 通年	実 習	3	久保田真規子 小 川 崇 白井 智佳子	特に指定しない。随時資料を配付する。
科目名	教育実習Ⅱ		担当形態			
			複 数			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔実習の概要〕 1年次の実習の課題を踏まえた上で、教育実習Ⅱで学ぶべきことは、自ら保育を計画し、実践することを通して、より深く幼稚園における保育を理解することである。そのためには子ども理解に基づいた子どもへの関わりを事前に予測し、指導計画案を作成することが求められ、実践後には予測と実際のズレを認識した上で、次の保育への課題をえることが重要となる。そのために、授業内で実際に指導計画案を作成し、模擬保育を行うことによって、実践的に実習の準備を行いたいと考えている。幼稚園教諭・園長経験を有する教員・教員免許を有する者が授業を担当する。						
〔実習の到達目標〕 ・1年次の実習を踏まえた上で、実習生(社会人)らしく振る舞うことができる ・実習中に子どもや保育者と関わることを通して保育に関する理解を深め、日々行われている保育を記録することができる ・子どもたちの様子や季節を踏まえた上で、指導計画案を作成し、保育を実践した上で、自らの課題を見いだすことができる						
〔実習の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
実 習 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1 オリエンテーション			予習：			
			復習：授業内容を振り返り、教育実習Ⅱの概要を理解する			
2 教育実習Ⅱの意義と位置づけ			予習：模擬保育の流れをつかむ			
			復習：授業内容を振り返り、教育実習の意義と位置づけを理解する			
3 指導計画案の作成① (部分実習)			予習：模擬保育と保育計画案を理解する			
			復習：授業内容を振り返り、日誌の書き方を確認する			
4 指導計画案の作成② (部分実習)			予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
			復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
5 指導計画案の作成③ (部分実習)			予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
			復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
6 指導計画案の作成④ 模擬保育のすすめ方・相談・(実践)			予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
			復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
7 模擬保育の実践			予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
			復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する			
8 模擬保育の実践			予習：			
			復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す			
9 模擬保育の実践			予習：			
			復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す			

〔実習の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕		
実 習 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 模擬保育の実践	予習： 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
11 模擬保育の実践	予習： 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
12 模擬保育の実践	予習： 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
13 模擬保育の実践	予習： 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
14 模擬保育の実践	予習： 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
15 総括	予習： 復習：授業内容全体を振り返った上で、実習に臨めるようにする	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 幼稚園実習における部分実習、責任実習の指導計画案の立案・教材研究を行う。授業内の指導や各自の実践を基に事前準備、振り返り、考察を行うこと。なお、提出物等の忘れ、遅れは認められないので注意すること。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕 実習評価票、巡回教員による報告、実習日誌、提出物、学習態度によって総合的に行う。 ・ 模擬保育 (30%) ・ 実習評価 (70%)</p>		
<p>〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕 作成した指導計画案や指導計画案に基づく実践については、授業中に随時フィードバックを行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト(書名・著者・出版社等)
科目コード	1DK31	2年次 後期	講義	1	久保田真規子	『知のゆりかご 子どもの姿からはじめる 領域人間関係』
科目名	子どもと人間関係		担当形態 単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (5) (6) (8) (9) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 人はヒトやモノのかかわりによって発達していくが、なかでも乳幼児期は人のかかわりが特に重要である。本講義では三法令に示される領域「人間関係」の理解を深め、人との関係性の中で獲得していくこと、共に学び合うことや育ち合うことの重要性を知り、子どもの人間関係の発達について考える。その際、保育者は何をどのように援助しているのかにも注目し、子どもを観る視点や具体的な援助方法について学ぶ。幼・保・小の連携、地域、保護者とつながる保育活動を含む、幼児の人間関係を踏まえた活動を考える。 元幼稚園園長・子育て支援施設勤務経験者が授業を担当する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・乳児に対する応答的な関わりの重要性とその実践を理解し、実習等に活かす。 ・人間関係が広がりを見せる中で、保育者が人のかかわりを支えること、また子ども同士がつながることの重要性に気づき、その援助について考える。 ・人間関係の育ちを意識し、活動や援助について考え、実践することができる。						
〔授業の計画／事前事後学修(予習・復習)と所要時間〕						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	三法令にみる領域「人間関係」 1歳以上3歳未満児及び3歳以上のねらいと内容	予習：三法令を読む	復習：ノートをとめる。	4		
2	人間関係の発達① 乳児保育における3つの視点、養護と教育の 一体化・乳児期の愛着形成	予習：テキストを読む	復習：ノートをとめる。	4		
3	人間関係の発達② 乳幼児期の自立と協同性の育ち	予習：テキストを読む	復習：ノートをとめる。	4		
4	生活・遊びで育つ人間関係① 心理的安全性(動画視聴)	予習：テキストを読む	復習：ノートをとめる。	4		
5	生活・遊びで育つ人間関係② 集団の中で育ちあう・規範意識(動画視聴)	予習：テキストを読む	復習：ノートをとめる。	4		
6	遊びで育つ人間関係③ 主体的な気持ちの尊重と保育実践	予習：テキストを読む	復習：保育実践をとめる。	4		
7	遊びで育つ人間関係④ 3歳以上児の子ども同士が育ち合う保育実践	予習：テキストを読む	復習：保育実践をとめる。	4		
8	他者とつながる協同的な保育活動の実際と その計画・考察	予習：予習:保育実践のノート・日誌を事前に読む	復習：保育実践の考察をとめる。	4		

〔学習上の留意点・準備等〕

各授業ごとに考察のプリント提出、演習・実践のまとめやノート提出があります。
事前に教科書・実習日誌にも目を通しましょう。

〔成績評価方法と評価基準〕

課題レポート(50%)、授業中の演習・発表等(50%)

〔課題(試験やレポート等)に対するフィードバック〕

授業時間内のプリント添削・classroomへのmail送信・返信など様々な形態とします。